



13.NS形の管端部の処理はどのように行いますか？

NS形は他継手と異なり帽、栓の2種類があり、呼び径75～450までは帽、呼び径500～1000までは栓となっております。帽の場合はNS形甲切管や乙切管、栓の場合はNS形甲切管や継ぎ輪と組み合わせて管端部の処理を行います。以下に組み合わせを示します。

管端部の処理について

呼び径	端部処理箇所	端部処理方法
75～250	直管および異形管受口の場合	NS形乙切管、NS形帽
	直管挿し口の場合	NS形帽
	異形管挿し口の場合	NS形甲切管(ライナ付)、NS形帽
300～450	直管および異形管受口の場合	NS形乙切管、NS形帽
	直管および異形管挿し口の場合	NS形帽
500～1000	直管および異形管受口の場合	NS形栓
	直管挿し口の場合	NS形継ぎ輪、NS形栓
	異形管挿し口の場合	NS形甲切管(ライナ付)、NS形継ぎ輪、NS形栓